

国語

小学6年

この本の使い方と特色

- **全体の構成** このテキストは、小学校六年間に学んだことがらを、選ばれた素材によって、合理的かつ総合的に学習できるように編集してあります。
- **単元の構成** 一つの単元は、**確認問題**→**練成問題**の順に構成してあります。また、読解問題は、詩をのぞいて、一素材ごとに見開き完結になっています。なお、詩・短歌・俳句の単元では、学習の要点を配してあります。
 - ◆ **学習の要点**……問題を解くうえで不可欠と考えられる実用的な知識を簡潔にまとめ、ポイントを確実に把握できるようにしてあります。
 - ◆ **確認問題・練成問題**……基本的な問題の量、素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題とに分けてあります。また、真の理解力と表現力を養うため、記述問題も配してあります。

目次

1 物語(1)	2	5 論説文(1)	18
2 物語(2)	6	6 論説文(2)	22
3 隨筆	10	7 漢字・語句・ことばのきまり(1)	26
4 詩・短歌・俳句	14	8 漢字・語句・ことばのきまり(2)	30

1
物語(1)

確認問題

- 次の文章を読んで、あとで問い合わせに答えなさい。

新規印

/

ア 入院費用がかかるのでお金が足りなくなるから。
 イ 来年まで生きてはいられないと思ったから。
 ウ 長い期間入院しなければならなくなつたから。
 エ 家から遠い所にある病院に入院することになつたから。



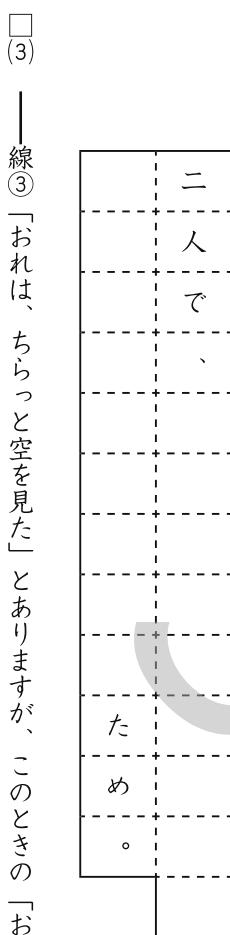
(2)	(1)

- (1) ① ③ に入る最も適切なことばを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。
- ア いそいそと イ ざわざわと
 ウ とくとくと エ がらんと
- (2) — 線①「いやな予感」とありますが、「恭」は、どんなことを予感したのですか。「こと」という形で、十五字以内（句読点も字数に数えます）で書いて答えなさい。
- (3) — 線②「この分だと、どうやら来年はプレゼントを買いに行けんようじゃ——」とあります。が、「おじいちゃん」は、なぜ、来年は、「恭」の誕生日プレゼントを買いに行けないかもしけないと言つたのですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- (4) — 線③「恭は、おじいちゃんの顔が大きな美しい泰山木の花に変わったを見ていた」とあります。が、このときの恭の様子の説明として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア おじいちゃんのそばをはなれ、泰山木の花を見にきている。
 イ おじいちゃんが死の危機をぬけ出して元気になつたと思い、安心している。
- (5) ④ ⑤ に入る最も適切なことばを、本文中から三字で書きぬいて答えなさい。
- (6) — 線④「あれから一年過ぎた今、次々と見事な花をつける泰山木を見上げている」とあります。が、「おじいちゃん」の死から一年たつた今、「恭」は、「泰山木」をどのようなものだと思うようになりましたか。それをまとめた次の文の に入る最も適切なことばを、①は五字、②は七字で本文中から書きぬいて答えなさい。
- 〔恭は、自らの生と死を通じて ① のようなものを教えてくれたおじいちゃんにもらった泰山木を、 ② のようなものだと思うようになった。〕

練成問題

- 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。



- (2) — 線②「ねえ、貢。あしたおれんち来ない?」とあります。良樹が自分の家へ「おれ(貢)」をさそたのは、二人で何をするためですか。「二人で、ため。」という形で、二十五字以内(句読点も字数に数えます)で書いて答えなさい。

□ (1) — 線①「金曜日の朝、おれはチャイムと同時に六年二組の教室にすべりこんだ」とあります。この日の朝、「おれ」の登校が始業時間ぎりぎりになつた理由として最もふさわしいことばを、本文中から三十字(読点も字数に数えます)で探し、その最初と最後の三字を書きぬいて答えなさい。

- (注) 分じよう地||いくつかに区切つて売る土地。
コンバイン||大型の農業機械。
- 〈田沢五月「まつ白」はんが好きだから〉より

- (4) — 線④「あ……、うん」とあります。このときの「おれ」の気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 明日の天気が悪ければよいのだが。
イ 晴れた青空は本当に気持ちがいい。
ウ ぜひともこのまま晴れが続いてほしい。
エ これはにわか雨が降るにちがいない。
- (5) — 線⑤「手伝い」とは、ここでは具体的に何をすることですか。本文中から八字で書きぬいて答えなさい。
- ウ 良樹の家へ行けるのを楽しみにしている気持ち。
エ 良樹の家へ行くかどうかで迷つている気持ち。
- (6) 本文についての説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 「おれ」の目を通して、田園風景の美しさや、いなか暮らしの楽しさをえがいている。
イ 「おれ」の目を通して、農家の仕事の大変さや、それなお米のおいしさをえがいている。
エ 「おれ」の目を通して、「おれ」の家族が、いかに働き者で仲が良いかをえがいている。
- (3) 「おれは、ちらっと空を見た」とあります。このときの「おれ」